

AI悪用防止と知財保護の新ルール：日本の省庁横断アプローチ

2026年時点の政府のAI知財保護政策の全体像

内閣府を司令塔とする「省庁横断」体制で、法的拘束力のない「プリンシプル・コード」を軸に、柔軟かつ迅速な制度 AI運用を目指す。

政策の骨格と推進体制



実務家が今すぐ取るべきアクション



ガバナンス基盤の棚卸し
自社がコードの対象か判定し、特に外部AIへの秘密情報入力ルールを最優先で整備する。



創作的寄与の立証準備
AI活用発明の特許化に備え、人間の選択・修正を含む開発ログを体系的に保存する。



なりすまし・悪用監視の強化
不正競争防止法改正動向を注視し、声や肖像のディープフェイク被害に対する監視体制を構築する。